

「まいにち笑顔 みんなが笑顔」

みんなでつくる七小（その2）



7月の全校朝会で、今年から日野市は、第4次日野市学校教育基本構想というのがスタートし、「日野の学校は、「誰か」が育ててくれるものではなく、みんなが当事者として力を出し合うこと」とあり、また「子供たちの思いや願いを大切に、みんなで作っていきます。」とあることを紹介しました。簡単に言うと、「みんなの学校を子供たちを含めたみんなで作っていかう」というものです。

これは、みんなの住んでいる日野市の学校教育についての話ですが、実は東京都全体が同じような考えで子供たちを育てていこうとしています。それが、「東京都教育ビジョン（第5次）」というものです。

日野市学校教育基本構想は子供や保護者、地域の方、先生方を含めた14,000人以上の声を聞いて作られましたが、この東京都教育ビジョンも「学校にこうあってほしい」と思うことを10,000人の子供たちの声を聞いて作られています。こうした声を受けて、東京都の学校は「だれ一人取り残さず、すべての子供が将来への希望をもって自ら伸び、育つ教育」を目指していきます。そして、子供たちの力を伸ばすために、また学校の先生方を支えるために、いろいろなサポートを約束してくれています。

もっと良くするために学校にこうあってほしい、ここを変えてほしいということがあれば、今見てもらっている資料の最後には、皆さんの声を聞くためのアンケートが用意されています。この資料は皆さんのクロムブックのクラスルームにも送りますので、考えがあればアンケートに答えてみてください。

さて、その7月の全校朝会の時に、「みんなで学校をつくっていく」ために、図書室や4階の教材室などをもっとよくするための意見をくださいと伝えたところ、図書委員会の人たちが「図書室改造計画」を、6年生が4階の教材室を「あったかい憩いのスペース」にしたいとの意見をくれました。その声を日野市の教育委員会に伝えたところ、応援してくれることになりました。図書室はすでに変わり始めていますが、これからもっともっと、みんなが居たくなる図書室に改造していきます。また、4階の教材室も、みんながいろいろな学びに使えたり、友達とくつろげたりするスペースに変わっていきます。楽しみにしててください。

すでに練習が始まっているかと思いますが、来月には七小体育の日があります。こちらの種目やルール、表現などについても、是非、皆さんの意見を聞きながら、学校行事についてもみんなで作っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。